

# ぬりえ <sup>さかまき</sup>酒巻14号墳のはにわたち

## ぬりえのあそびかた

ぎょうだし  
行田市のこふんからみつかった「はにわたち」をカラフルにぬってあげてください。  
はくぶつかんのはにわは <sup>あかちやいろ</sup>赤茶色をしているけれど、  
モデルになった人や馬は <sup>ほんとう</sup>本当は <sup>いろ</sup>どんな色のふくをきて、  
どんな <sup>いろ</sup>色のかざりをつけていたんだろう？



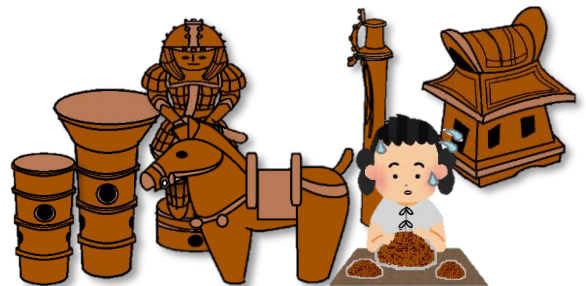
## さかまき <sup>ごうふん</sup>酒巻14号墳のはにわたち

ぎょうだし <sup>さかまき</sup>  
行田市の酒巻にあったこふんからみつかった「はにわたち」です。  
おおむかしの <sup>ひと</sup>人たちは、その <sup>ち</sup>地いきをおさめていた人のおはかとしてこふんをつくりました。



わたしはすごくうれかったんだ。  
それをみんなに知ってもらうために  
いっぱいのおはかをつくるぞ！

こふんのまわりには、ねん土を <sup>ど</sup>こねて <sup>かたち</sup>形をつくり、  
<sup>や</sup>焼いてかためた「はにわ」というやきものを <sup>ならべ</sup>ならべました。



はにわのモデルになったのは、こふんが <sup>じだい</sup>つくられた時代のひとびとの <sup>すがた</sup>や  
<sup>みちか</sup>身近だった <sup>どうぶつ</sup>どうぶつたち、使われていた <sup>どうぐ</sup>道具などです。

さかまき <sup>ごうふん</sup>  
酒巻14号墳というこふんからは、めずらしいはにわがたくさんみつかりました。

これらの「はにわたち」は、<sup>くに</sup>国の <sup>じゅうようゆうけいぶんかざい</sup>重要有形文化財 <sup>な</sup>なっています。

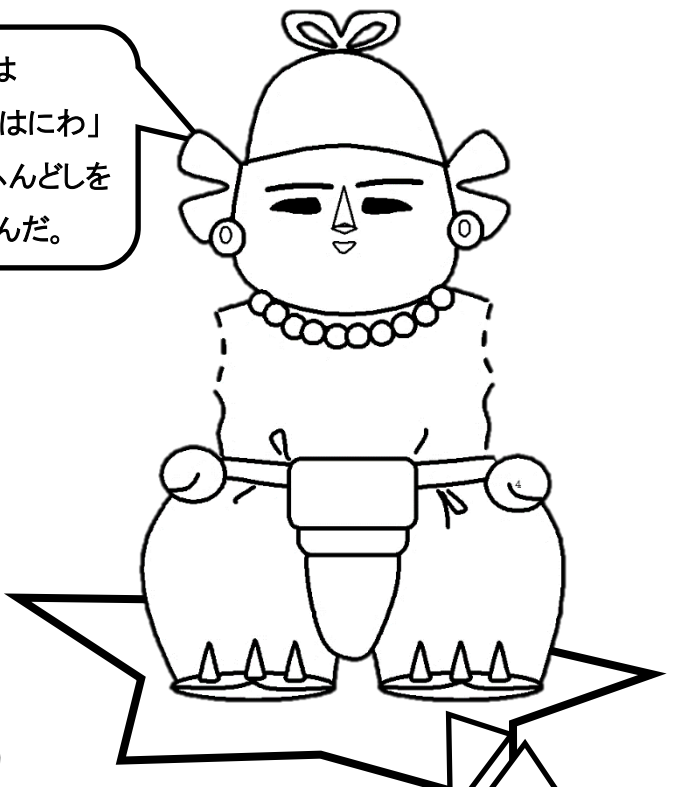
<sup>ぶんかざい</sup>「文化財」は <sup>にほん</sup>日本の <sup>な</sup>ながい <sup>れきし</sup>れきしの <sup>なか</sup>なかで、  
つくられ、<sup>まも</sup>守られ、<sup>つた</sup>伝えられてきた <sup>こくみんぜんたい</sup>国民全体の <sup>たからもの</sup>たからものこと。  
とくに大切なものを <sup>じゅうようぶんかざい</sup>えらんで「重要文化財」としている。

※「<sup>だんし</sup>りきしの男子はにわ」はうでの一部がみつからない。  
どんなポーズだったか、<sup>かんが</sup>か <sup>か</sup>考えて描いてみて!

わたしは  
「<sup>だんし</sup>つつそでの男子はにわ」  
<sup>なが</sup>長いそででしょ？  
<sup>ちょうせんはんとう</sup>朝鮮半島から来た  
<sup>とらいじん</sup>「渡来人」なんだ。



わたしは  
「<sup>だんし</sup>りきしの男子はにわ」  
<sup>うえ</sup>ふくの上からふんどしを  
つけているんだ。



わたしは  
「<sup>うま</sup>はたをたてた馬がたはにわ」。  
<sup>うま</sup>はたがついた馬のはにわは  
日本でわたしだけだよ。  
とてもめずらしいはにわなんだ。

